



芹沢光治良記念文化財団“マグノリアの会”主催

芹沢光治良生誕128年

「芹沢光治良と音楽と…」

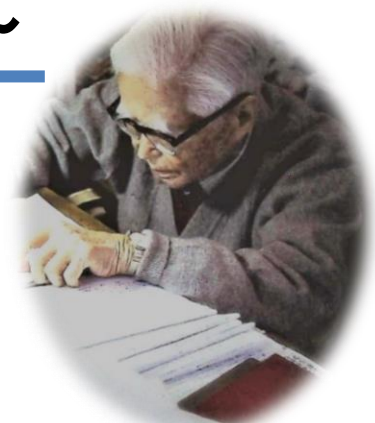
～講演と歌の調べ～

■日時 令和6年06月22日(土)  
14:00~16:00 (受付13:30)

■会場 サロン・マグノリア (東中野)

■募集 40名 (予約制)

■参加費 2000円 (珈琲・茶菓子)



【一部】

「芹沢光治良と音楽」

- ・光治良が聞いた音楽、見た映画、オペラ。
- ・講師 豊田英文



【二部】

- ・「歌の調べ」 野田ヒロ子
- 芹沢文子 “アヴェ マリア”
- デュパルク “悲しき歌”
- プッチーニ 「トスカ」より
- “歌に生き、愛に生き” 他



©TAKUMI JUN

【三部】

- ・参加者と交流

【お申込/お問い合わせ】

参加者40名の予約制となります。

お手数ですが、参加希望の方は6月15日までに、  
下記のEメール又は、携帯電話(C,SMS)メール宛

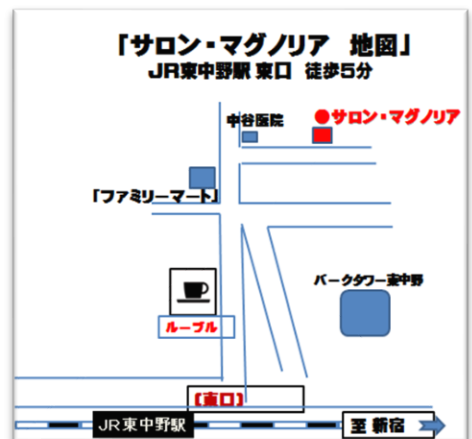
【お名前・ご連絡先】をお送りください。

メールを確認次第、ご連絡いたします。

財団 事務局長 池田三省

携帯電話：080-5088-1660

Eメール：ikedasa2002@yahoo.co.jp



## 『野田ヒロ子紹介』

岩手県盛岡市出身

東京音楽大学卒業、同大学研究科修了。大学受験時から芹沢文子に師事。

1996年から2002年までイタリアのヴェローナに留学。

1998年東京国際声楽コンペティション優勝。

ブタペスト国際声楽コンクール第2位。

ハンガリー国立劇場『ラ・ボエーム』ミミでオペラ・デビュー。

2002年 第38回日伊声楽コンクール優勝。

2003年 藤原歌劇団公演『椿姫(ラ・トラヴィアータ)』でヴィオレッタに抜擢され

日本でオペラ・デビュー絶賛を博した。

藤原歌劇団団員。東京音楽大学非常勤講師。

## 『ピアノ伴奏者「ジェム・オスル」紹介』

1992年にトルコで生まれました。

ウィーン音楽院とバークリー音楽大学で学びました。ロサンゼルスで9年間、ピアニスト、作曲家、教師、音楽監督として働きました。

2022年に東京に移住し、現在は洗足学園音楽大学の大学院生であり、新しいミュージカルの執筆に取り組んでいます。

## 『豊田英文紹介』

1979年 武蔵野音楽大学器学科チューバ専攻入学、チューバを故貝島克彦先生に師事。

1980年 アメリカテキサス州のノーステキサス大学で開かれたチューバのシンポジウム参加。

1981年 武蔵野音楽大学器楽を卒業

千葉県公立高校教員として、吹奏楽活動に深く関わり、指導したバンドでは、多くの金賞と東関東大会出場を果たした。

2005年 千葉県長期研修生として、中央大学文学部教授渡部芳紀(わたべ よしのり)先生指導のもと、1年間、「文学と音楽」芹沢光治良、宮沢賢治について研究する。

渡部先生の「宮沢賢治大辞典」の音楽について調査し、執筆する。

2012年 平成24年全日本音楽教育研究会 高等学校千葉県大会で、芹沢光治良先生の「人間の運命」の中に、書かれている能「隅田川」を用いて「哀しみと悲しみ」の公開授業を行う。

2024年3月まで千葉県公立職員として勤めた。現在は芹沢光治良文学愛好会代表

## 『朗読者「深澤さえ」紹介』

千葉県船橋市出身。

女優・モデル・司会・ナレータなど幅広く活躍中。